



令和 6 年度

総合教育センター

研究大会

情報教育チーム

● 1 研究主題・研究の目的

● 2 研究の経過

● (アンケートの分析)

● (校内研修会)

● (研究授業)

● 3 研究のまとめ



令和 6 年度

総合教育センター

研究大会

情報教育チーム

担当指導主事

主幹・指導主事	岡 英幸
主幹・指導主事	中村 忠廣
主幹・指導主事	関 博史
副主幹・指導主事	佐藤 朗
指導主事	飯窪 優

所内アドバイザー

情報教育推進官	萩原 章司
ICT教育支援センター長	数野 浩司

山梨大学アドバイザー

山梨大学附属教育実践総合センター

特任教授	中込 司
准教授	三井 一希
准教授	稲垣 俊介

■ 研究主題

BYOD端末の活用によるICT指導力向上に向けた支援の在り方
＝授業の振り返りを主軸とした都留高DXに向けて＝

■ 研究の目的

ICT活用指導力の向上

- 振り返りのICT化
- Teamsの活用
- 授業改善の支援

ICT機器の効果的な活用

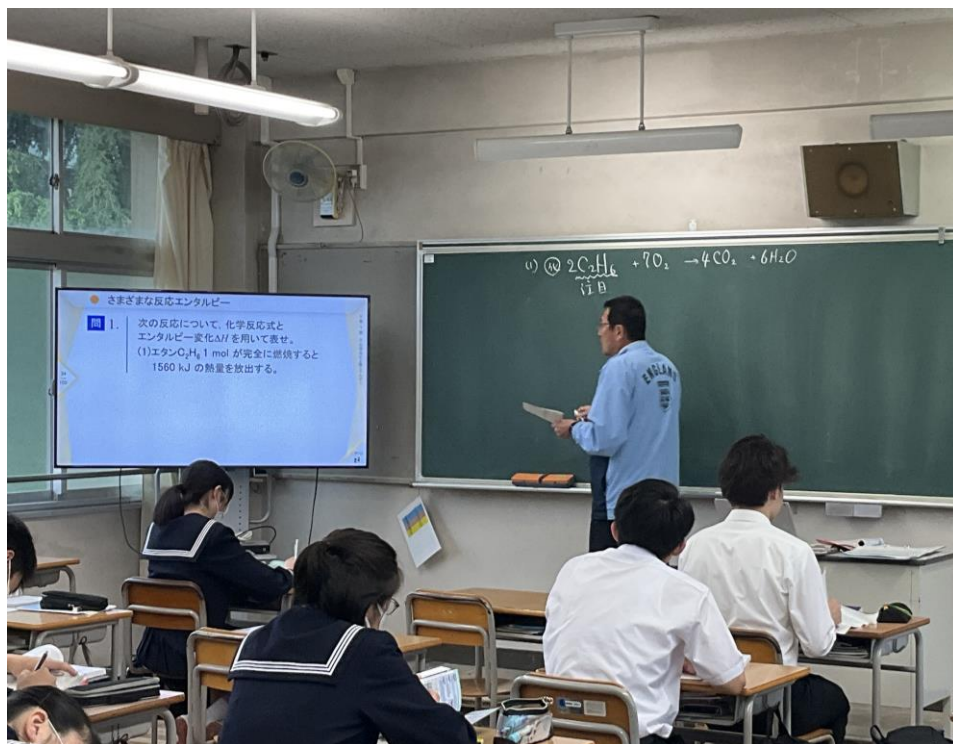
- DXハイスクールによって新規導入する機器の選定支援
- 活用方法の研究

月日	○担当者との打合せ・会議等 ■ 研究支援
4/3	○研究支援に関する管理職への事前説明 ・研究支援の概要説明
4/12	○研究支援に関する打合せ ・管理職、研究主任、ICT担当者等をまじえた打合せにおいて研究主任より研究主題等の提案 ・センター研究推進校について説明
5/1	○研究支援に関する打合せおよび授業参観 ・支援計画の検討および意見交換 ・授業参観および施設の確認
5/29	■教員のICT活用指導力等のアンケート ・研究主任へ各項目について概要説明 ・Microsoft Formsにより回答（1回目）
7/10	■学校担当指導主事訪問帯同 ・都留高教職員への概要説明 ・DXハイスクール関連事業についての研究協議 ○校内研修会についての打合せ ・研修会の内容調整
7/23	■校内研修会（全職員対象） ・振り返りをOneNoteおよびTeamsで実施するための方法について ・OneNoteの活用方法の事例紹介
10月末以降	○校内研究授業および研修会についての打合せ ・日程調整および内容検討
12/17	○校内研究授業および研修会 ・BYOD端末を活用した授業とOneNoteを利用した振り返りの実践事例 ・先生方でのグループ討議
1月中	■教員のICT活用指導力等のアンケート ・研究主任へ各項目について概要説明 ・Microsoft Formsにより回答（2回目）

2 研究の経過

月日	○担当者との打合せ・会議等 ■ 研究支援
4/3	○研究支援に関する管理職への事前説明 ・研究支援の概要説明
4/12	○研究支援に関する打合せ ・管理職、研究主任、ICT担当者等をまじえた打合せにおいて研究主任より研究主題等の提案 ・センター研究推進校について説明
5/1	○研究支援に関する打合せおよび授業参観 ・支援計画の検討および意見交換 ・授業参観および施設の確認
5/29	■教員のICT活用指導力等のアンケート ・研究主任へ各項目について概要説明 ・Microsoft Formsにより回答（1回目）
7/10	■学校担当指導主事訪問帯同 ・都留高教職員への概要説明 ・DXハイスクール関連事業についての研究協議 ○校内研修会についての打合せ ・研修会の内容調整
7/23	■校内研修会（全職員対象） ・振り返りをOneNoteおよびTeamsで実施するための方法について ・OneNoteの活用方法の事例紹介
10月末以降	○校内研究授業および研修会についての打合せ ・日程調整および内容検討
12/17	○校内研究授業および研修会 ・BYOD端末を活用した授業とOneNoteを利用した振り返りの実践事例 ・先生方でのグループ討議
1月中	■教員のICT活用指導力等のアンケート ・研究主任へ各項目について概要説明 ・Microsoft Formsにより回答（2回目）

2 研究の経過

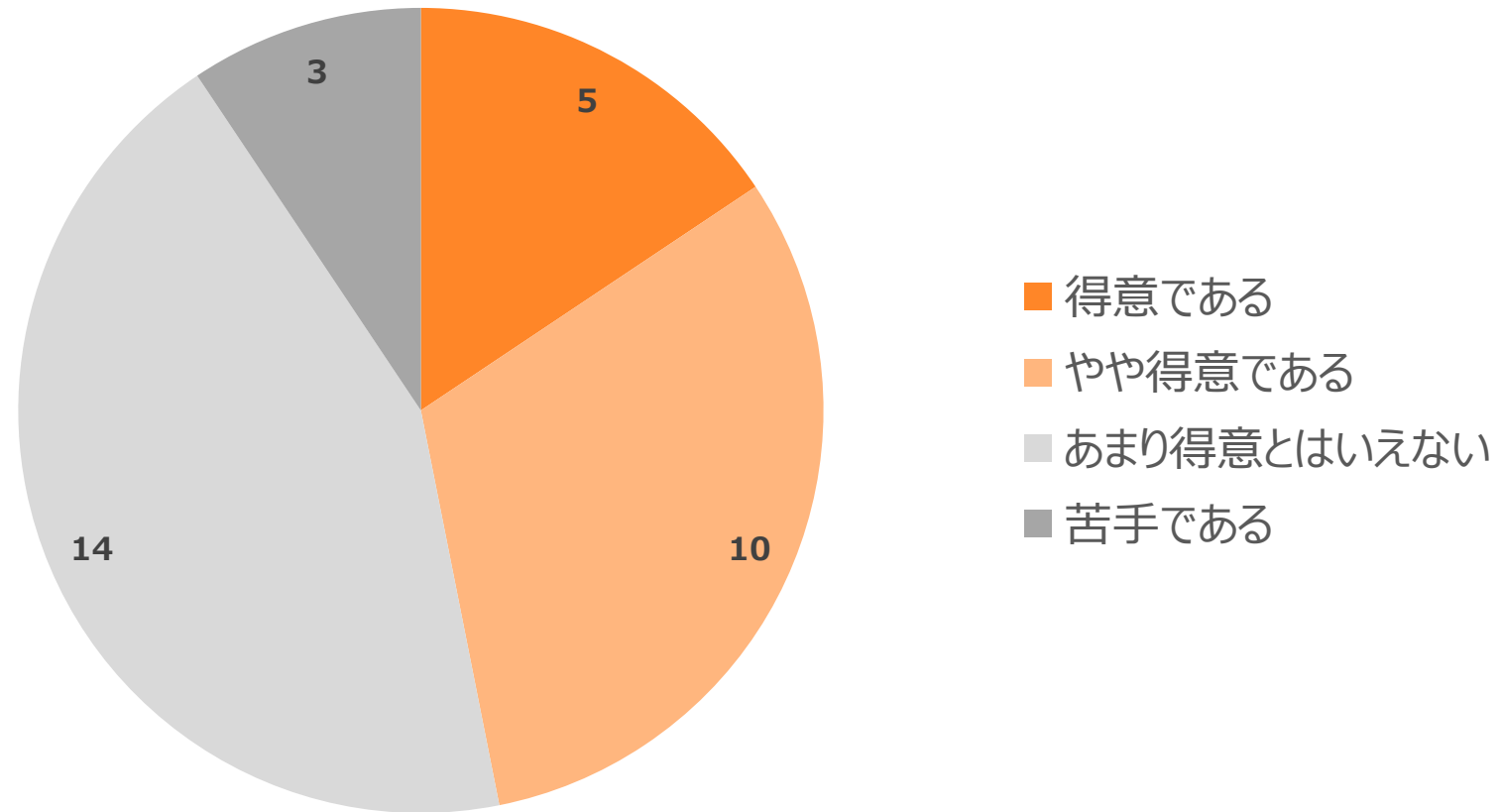


2 研究の経過

月日	○担当者との打合せ・会議等 ■ 研究支援
4/3	○研究支援に関する管理職への事前説明 ・研究支援の概要説明
4/12	○研究支援に関する打合せ ・管理職、研究主任、ICT担当者等をまじえた打合せにおいて研究主任より研究主題等の提案 ・センター研究推進校について説明
5/1	○研究支援に関する打合せおよび授業参観 ・支援計画の検討および意見交換 ・授業参観および施設の確認
5/29	■教員のICT活用指導力等のアンケート ・研究主任へ各項目について概要説明 ・Microsoft Formsにより回答（1回目）
7/10	■学校担当指導主事訪問帯同 ・都留高教職員への概要説明 ・DXハイスクール関連事業についての研究協議 ○校内研修会についての打合せ ・研修会の内容調整
7/23	■校内研修会（全職員対象） ・振り返りをOneNoteおよびTeamsで実施するための方法について ・OneNoteの活用方法の事例紹介
10月末以降	○校内研究授業および研修会についての打合せ ・日程調整および内容検討
12/17	○校内研究授業および研修会 ・BYOD端末を活用した授業とOneNoteを利用した振り返りの実践事例 ・先生方でのグループ討議
1月中	■教員のICT活用指導力等のアンケート ・研究主任へ各項目について概要説明 ・Microsoft Formsにより回答（2回目）

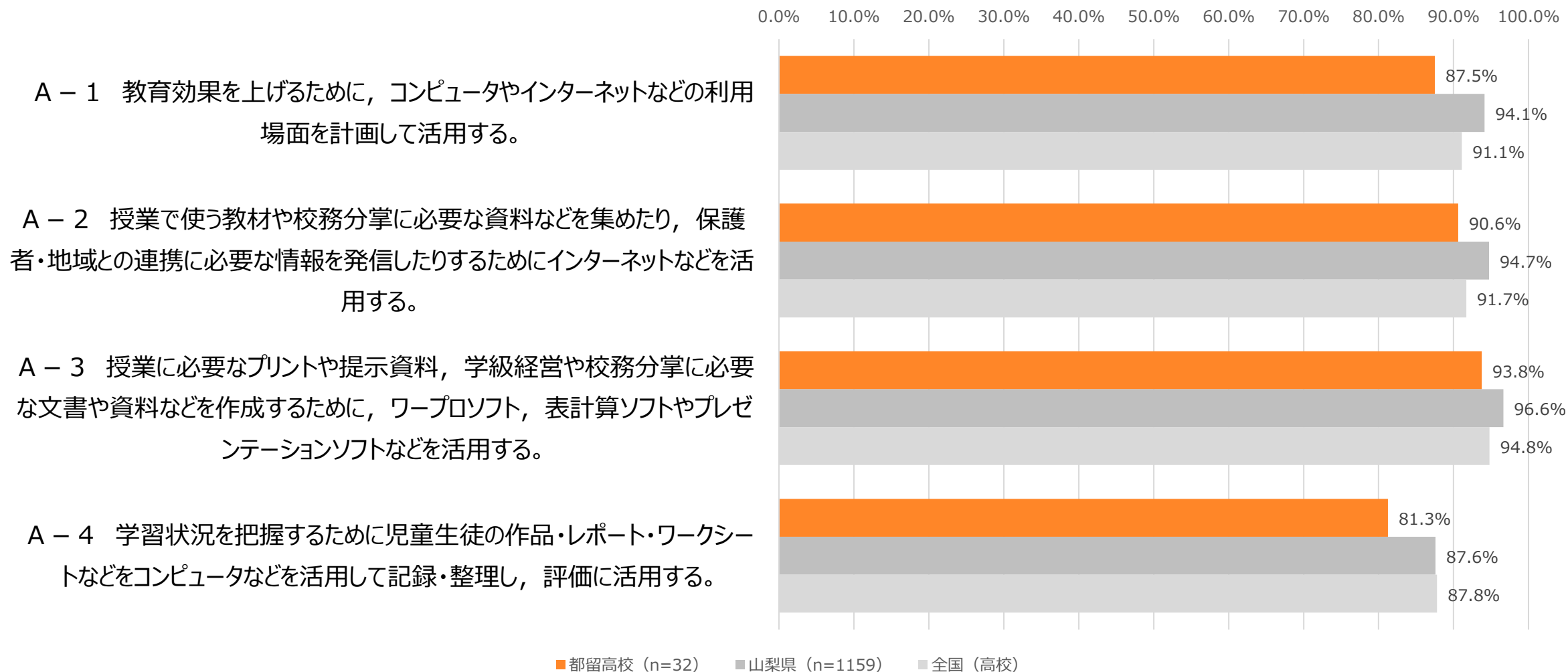
2 研究の経過

私はICT機器を扱うことは…（授業に限りません）（都留高校内 n=32）



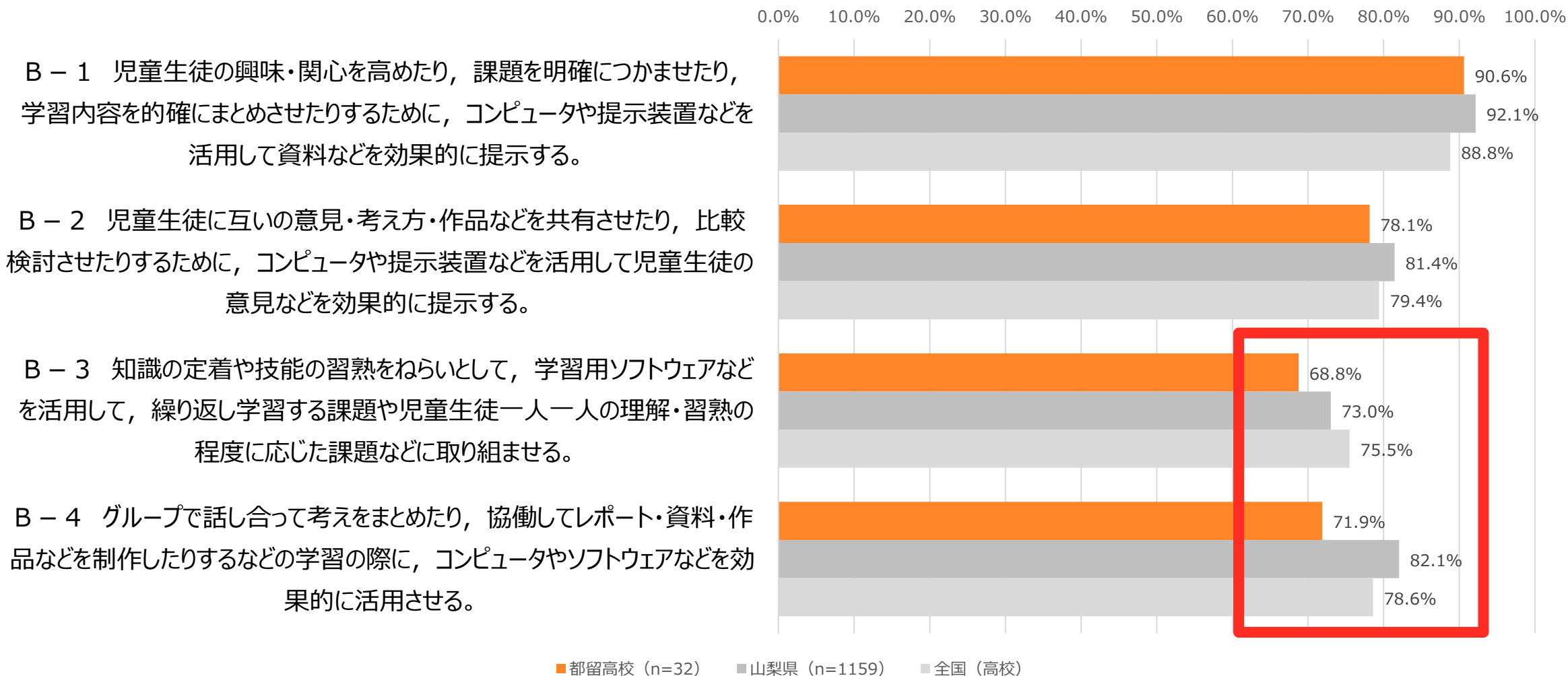
2 研究の経過（事前アンケートの結果）

教育の情報化実態調査 教員のICT活用指導力（「できる」・「ややできる」の割合）



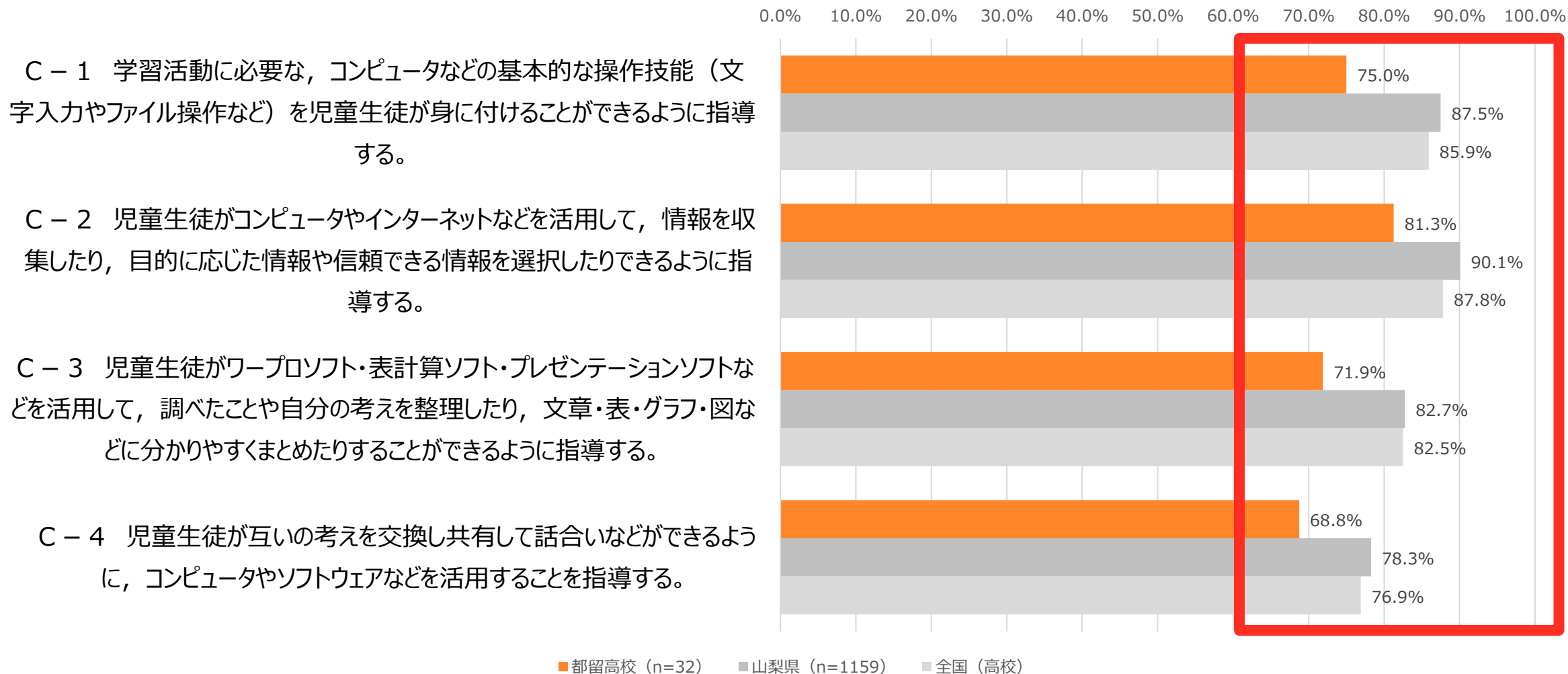
2 研究の経過（事前アンケートの結果）

教育の情報化実態調査 教員のICT活用指導力（「できる」・「ややできる」の割合）



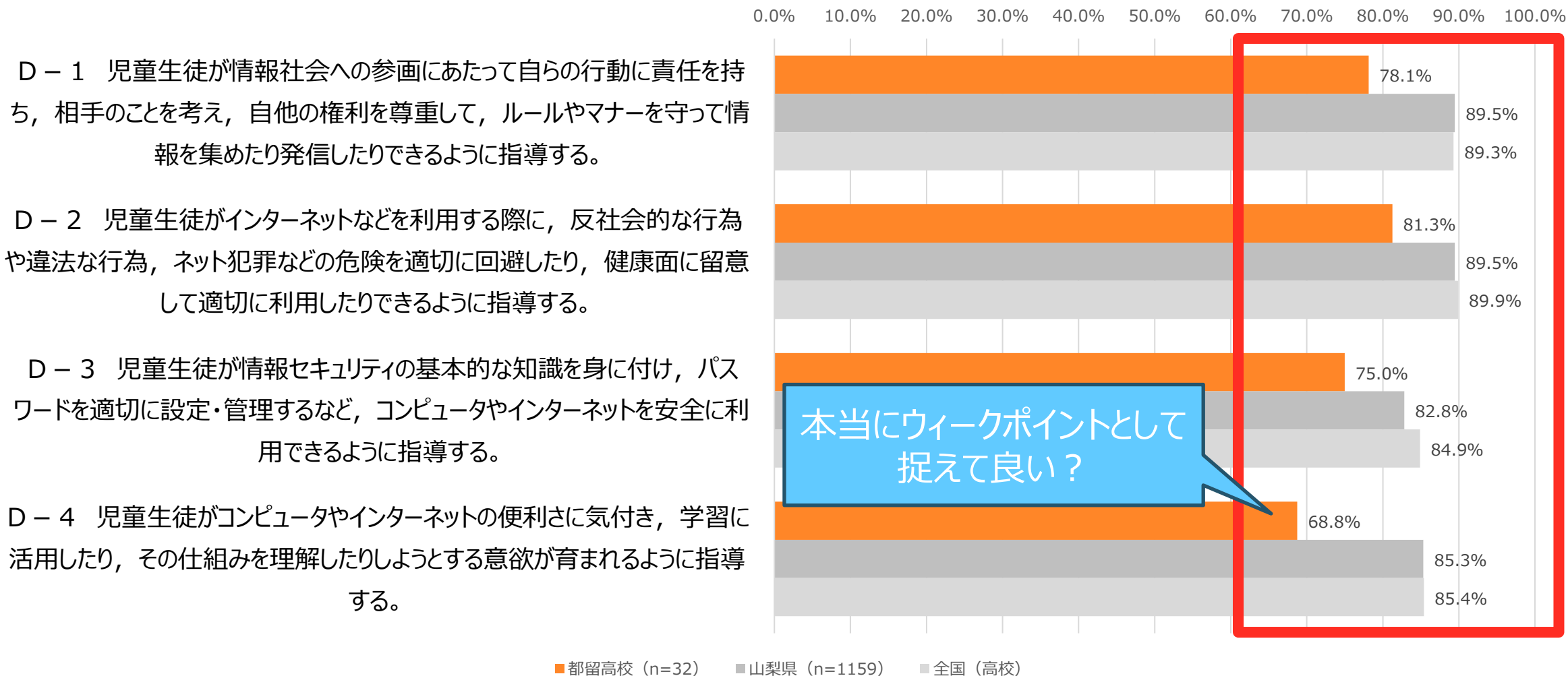
2 研究の経過（事前アンケートの結果）

教育の情報化実態調査 教員のICT活用指導力（「できる」・「ややできる」の割合）



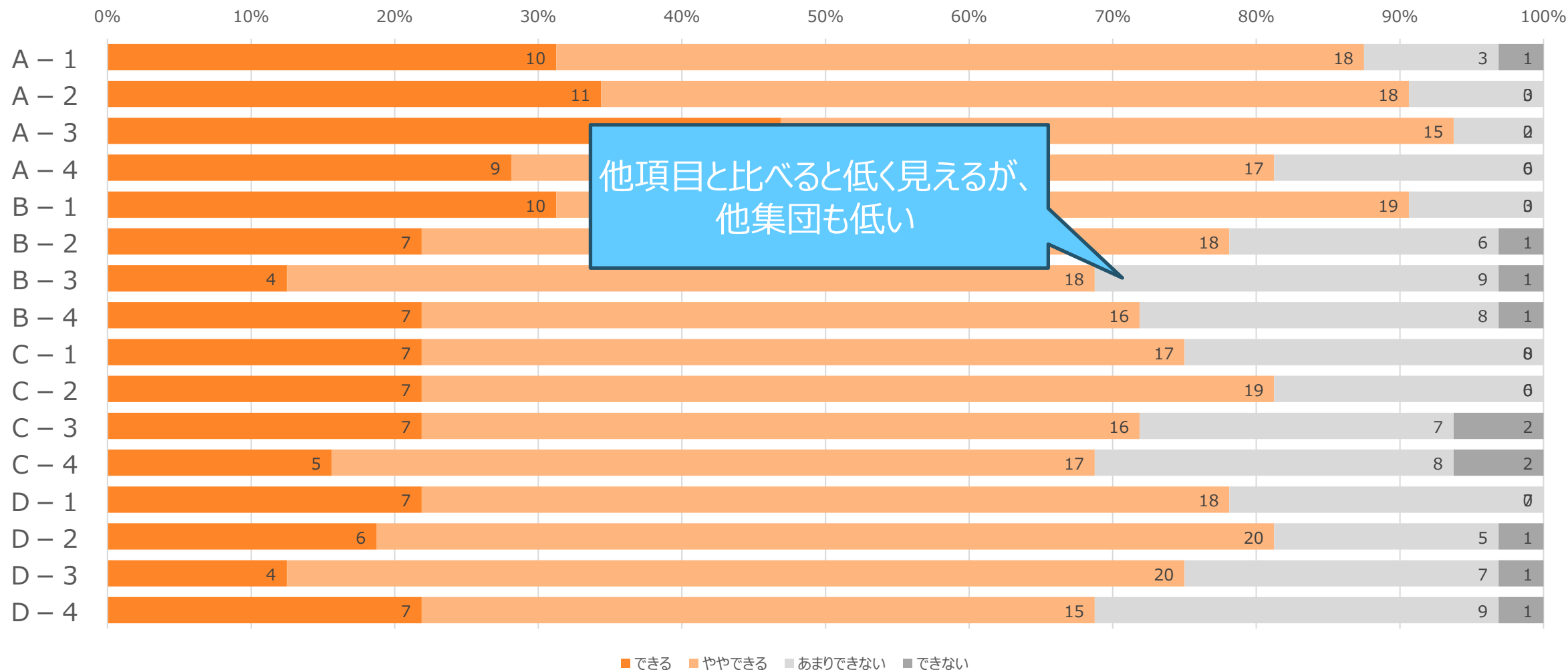
2 研究の経過（事前アンケートの結果）

教育の情報化実態調査 教員のICT活用指導力（「できる」・「ややできる」の割合）



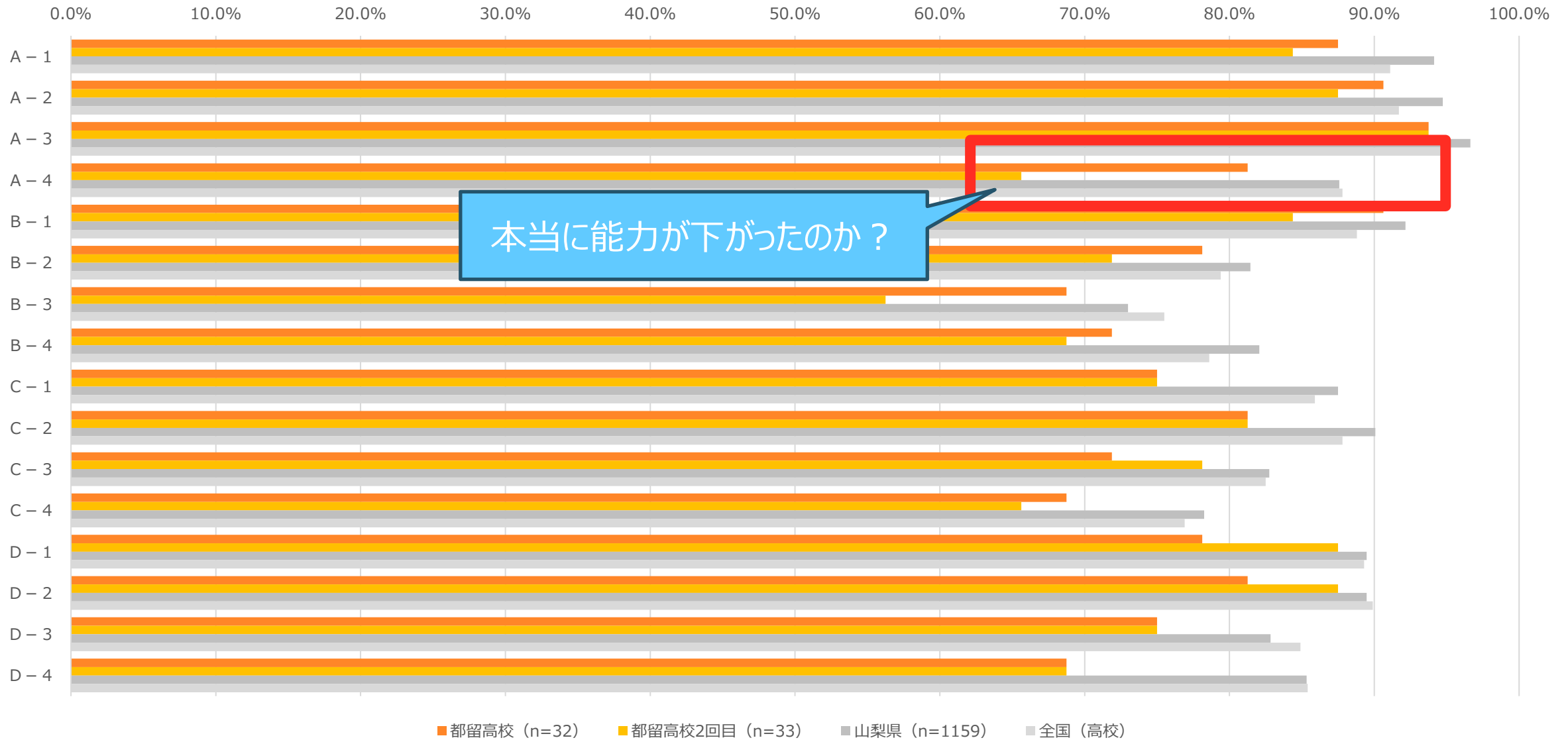
2 研究の経過（事前アンケートの結果）

教育の情報化実態調査 教員のICT活用指導力（都留高校内 n=32）



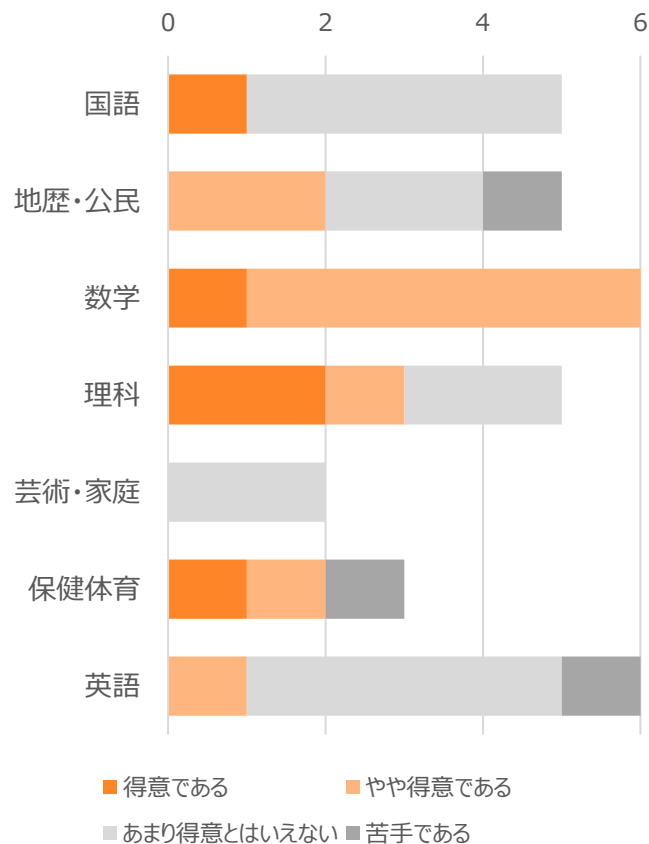
2 研究の経過（事前アンケートの結果）

教育の情報化実態調査 教員のICT活用指導力（「できる」・「ややできる」の割合）



2 研究の経過（事前アンケートの結果）

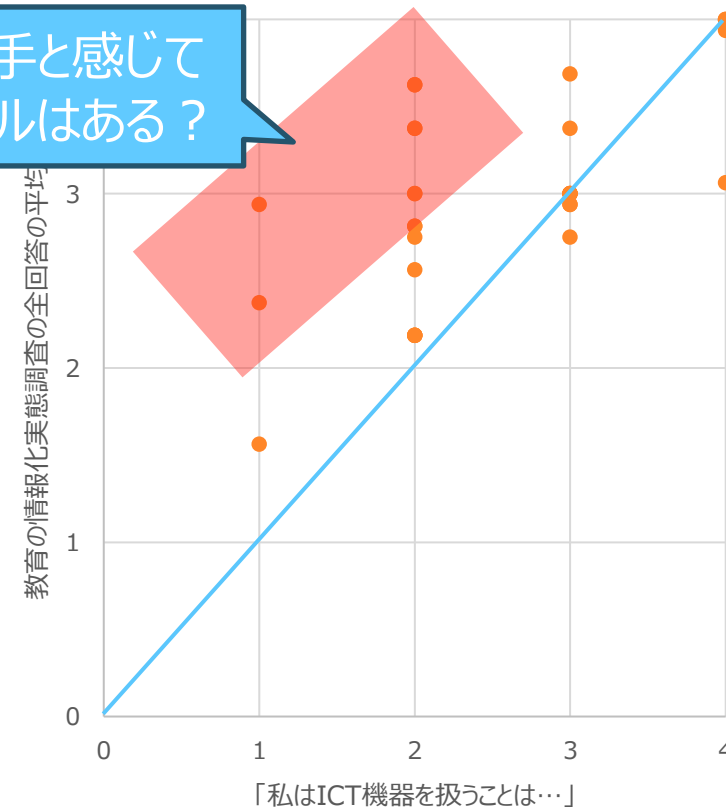
私はICT機器を扱うことは… (n=32)



「私はICT機器を扱うことは…」と 教育の情報化実態調査の全回答の平均値との関連性 (n=32)

	得意である	やや得意である	あまり得意とはいえない	苦手である	
国語	3.06		3.11		3.1
地歴・公民		3.19	2.47	1.56	2.58
数学	4	3.11			3.26
理科	4	2.75	3.19		3.43
芸術・家庭			2.5		2.5
保健体育	3.94	3		2.38	3.1
英語		3	2.73	2.94	2.81
総計	3.8	3.07	2.83	2.29	3.01

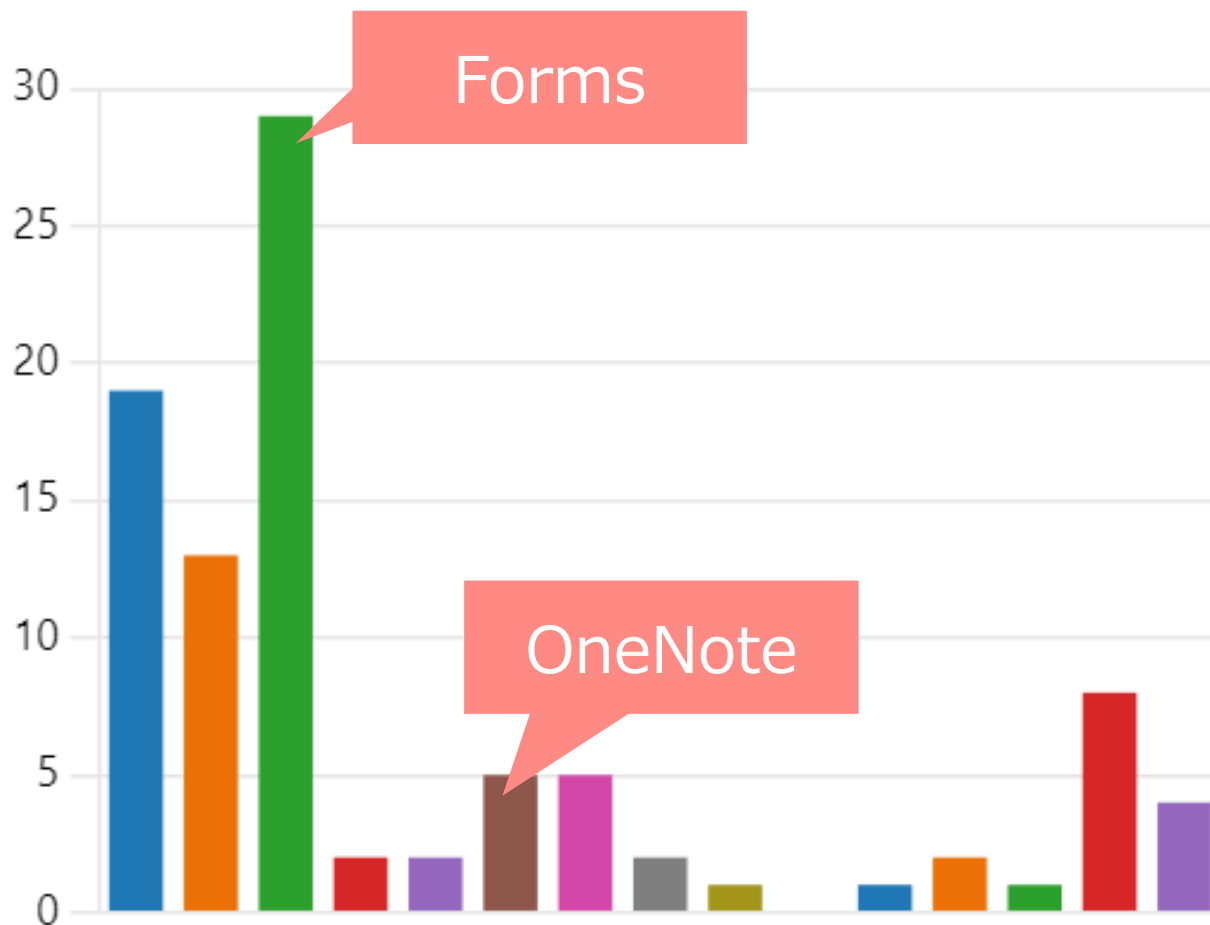
ICTは苦手と感じているがスキルはある？



教育の情報化実態調査の各回答について「できる：4 ややできる：3 あまりできない：2 できない：1」で換算
散布図では「得意である：4 やや得意である：3 あまり得意とはいえない：2 苦手である：1」で換算

2 研究の経過（事前アンケートの結果）

Microsoft Office / Microsoft365の機能で「数回以上」使ったことがあるものを全て選んでください。

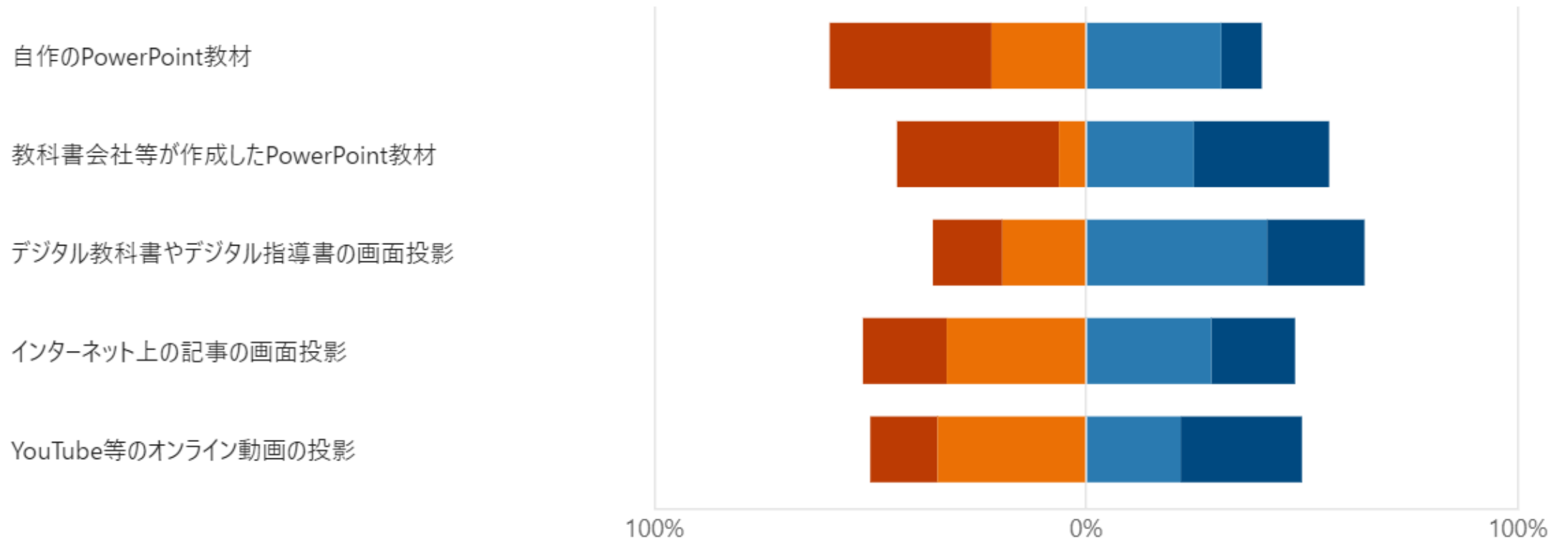


OneDriveへのファイル保存	19
OneDriveに保存したファイルの他者...	13
Formsによるフォーム・クイズの作成	29
SharePointによるページ作成	2
Streamによる動画共有	2
OneNote	5
Whiteboard	5
Power Automate	2
Sway	1
Loop	0
Lists	1
To Do	2
Power BI	1
Copilot (Bing AI)	8
どれも使ったことがない	4

2 研究の経過（事前アンケートの結果）

ここ数年間の、普段の授業におけるICT活用の頻度を教えてください。

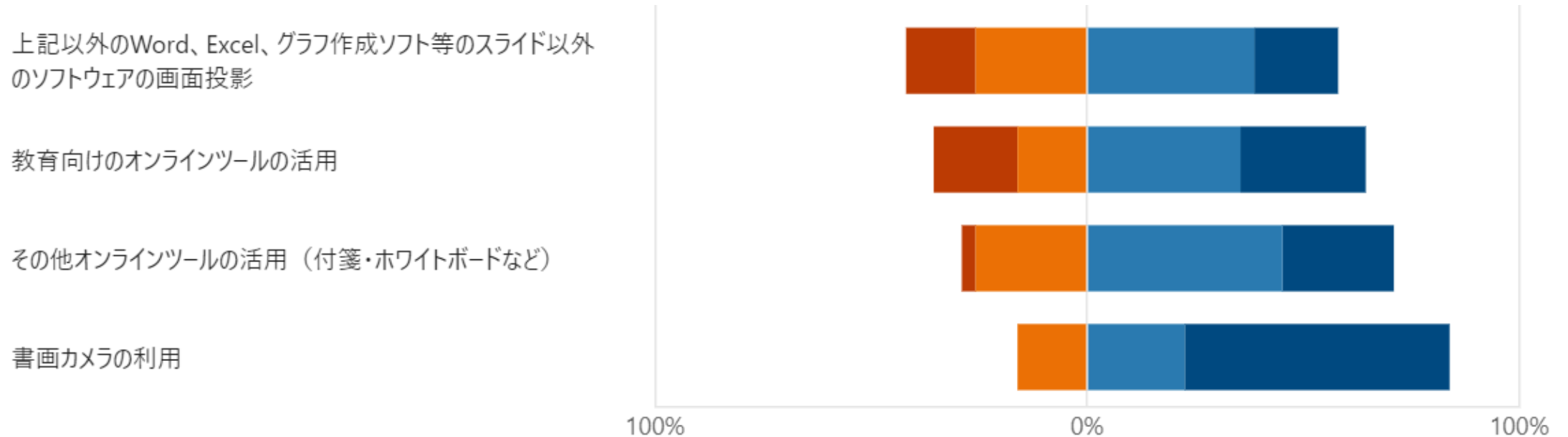
■ 良く使う ■ たまに使う ■ あまり使わない ■ 使ったことがない



2 研究の経過（事前アンケートの結果）

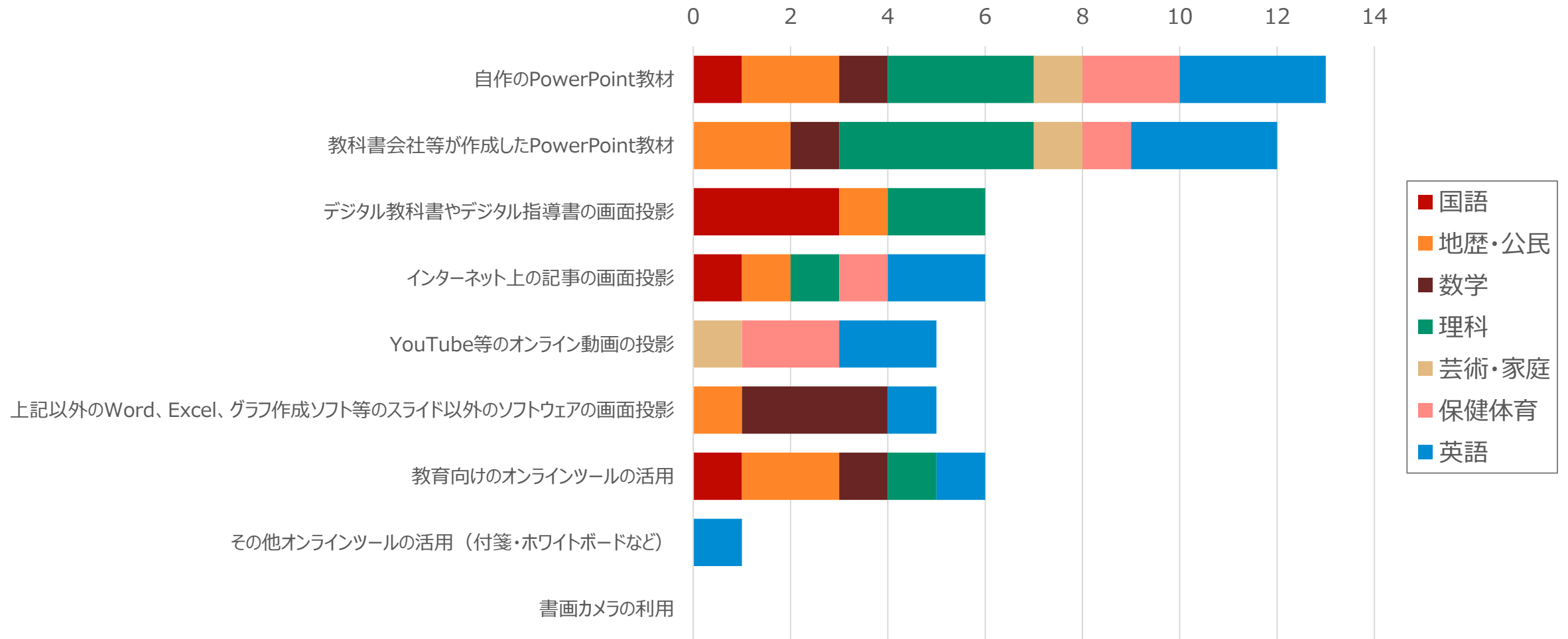
ここ数年間の、普段の授業におけるICT活用の頻度を教えてください。

■ 良く使う ■ たまに使う ■ あまり使わない ■ 使ったことがない



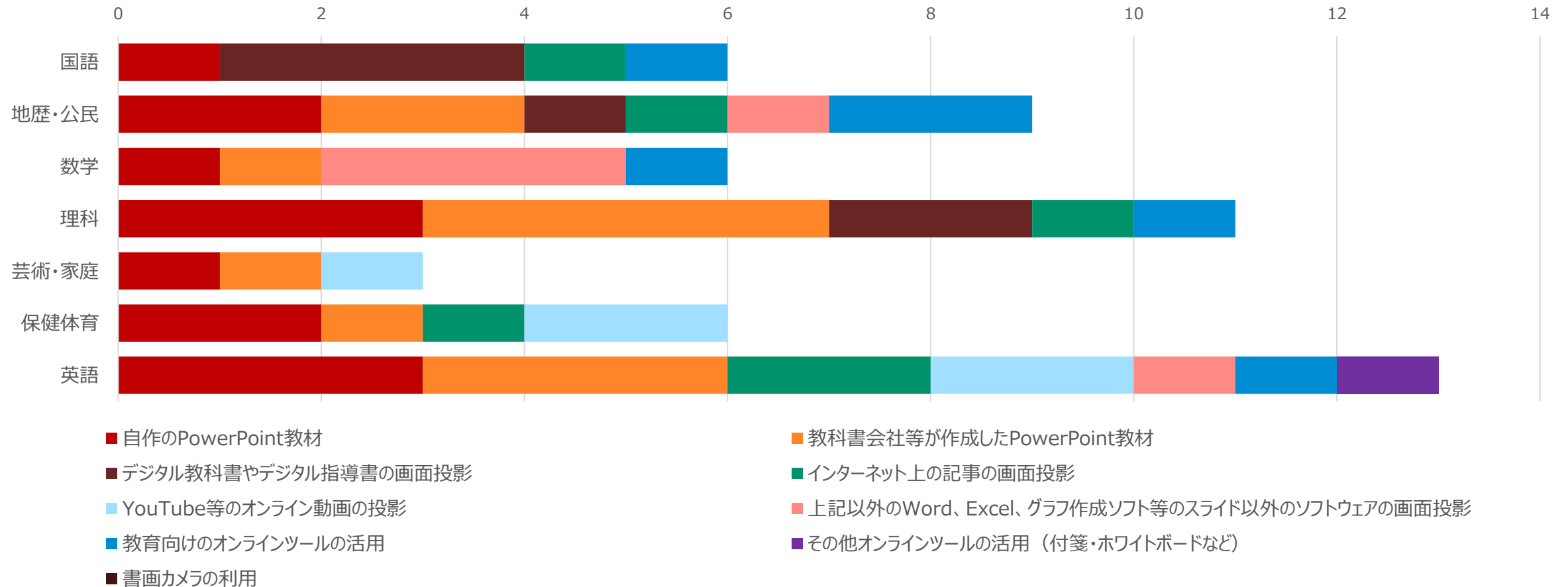
2 研究の経過（アンケートの結果）

ここ数年間の、普段の授業におけるICT活用の頻度を教えてください。 ※各ツールにおける、教科ごとの「良く使う」「たまに使う」の人数



2 研究の経過（アンケートの結果）

ここ数年間の、普段の授業におけるICT活用の頻度を教えてください。 ※各教科における、ツールごとの「良く使う」「たまに使う」の人数



2 研究の経過（アンケートの結果）

月日	○担当者との打合せ・会議等 ■ 研究支援
4/3	○研究支援に関する管理職への事前説明 ・研究支援の概要説明
4/12	○研究支援に関する打合せ ・管理職、研究主任、ICT担当者等をまじえた打合せにおいて研究主任より研究主題等の提案 ・センター研究推進校について説明
5/1	○研究支援に関する打合せおよび授業参観 ・支援計画の検討および意見交換 ・授業参観および施設の確認
5/29	■教員のICT活用指導力等のアンケート ・研究主任へ各項目について概要説明 ・Microsoft Formsにより回答（1回目）
7/10	■学校担当指導主事訪問帯同 ・都留高教職員への概要説明 ・DXハイスクール関連事業についての研究協議 ○校内研修会についての打合せ ・研修会の内容調整
7/23	■校内研修会（全職員対象） ・振り返りをOneNoteおよびTeamsで実施するための方法について ・OneNoteの活用方法の事例紹介
10月末以降	○校内研究授業および研修会についての打合せ ・日程調整および内容検討
12/17	○校内研究授業および研修会 ・BYOD端末を活用した授業とOneNoteを利用した振り返りの実践事例 ・先生方でのグループ討議
1月中	■教員のICT活用指導力等のアンケート ・研究主任へ各項目について概要説明 ・Microsoft Formsにより回答（2回目）

2 研究の経過



OneNoteを 振り返りに活用しよう

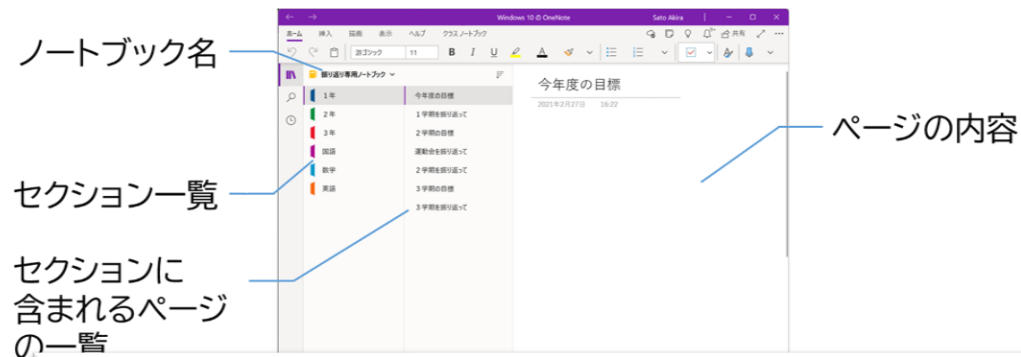
Microsoft Teamsの「Class Notebook」の利用

デジタルで行うメリット

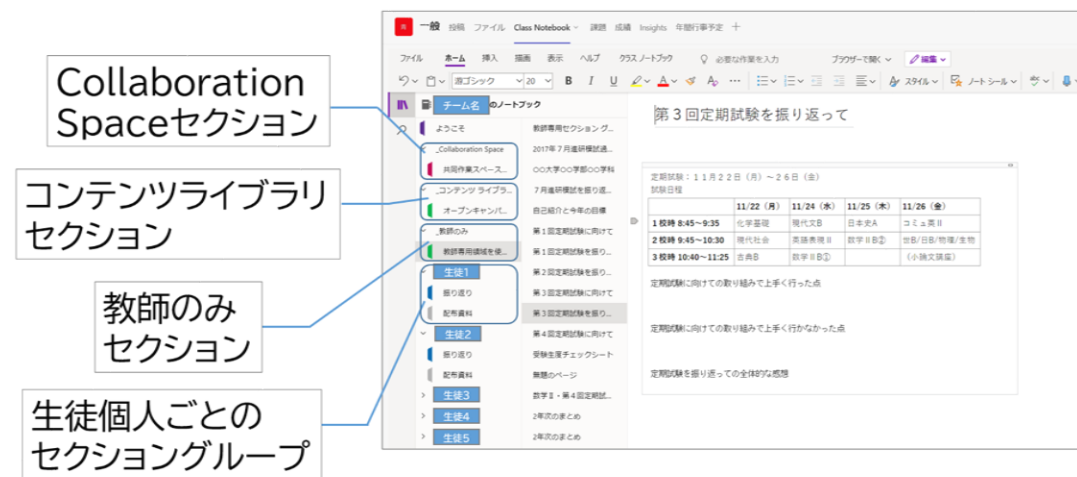
- 資料をなくすことがない
- 綺麗なまま読める
- 検索できる
- 自分の過去のデータがすぐ見つかる



OneNoteの画面



先生から見たClass Notebookの画面



2 研究の経過（校内研修会）

振り返りにICTを活用するメリット／デメリット

- 紛失しない
- 検索可能
- アプリの起動が必要、オフラインだと最新ではない可能性

OneNoteを使うメリット

- Teamsに組み込まれた「クラスノートブック」として利用可能
- 「課題」機能を利用して配信・回収が可能
- Formsでは保存は本人の意思が必要であり、情報が分散するが、チーム毎に一覧できる

月日	○担当者との打合せ・会議等 ■ 研究支援
4/3	○研究支援に関する管理職への事前説明 ・研究支援の概要説明
4/12	○研究支援に関する打合せ ・管理職、研究主任、ICT担当者等をまじえた打合せにおいて研究主任より研究主題等の提案 ・センター研究推進校について説明
5/1	○研究支援に関する打合せおよび授業参観 ・支援計画の検討および意見交換 ・授業参観および施設の確認
5/29	■教員のICT活用指導力等のアンケート ・研究主任へ各項目について概要説明 ・Microsoft Formsにより回答（1回目）
7/10	■学校担当指導主事訪問帯同 ・都留高教職員への概要説明 ・DXハイスクール関連事業についての研究協議 ○校内研修会についての打合せ ・研修会の内容調整
7/23	■校内研修会（全職員対象） ・振り返りをOneNoteおよびTeamsで実施するための方法について ・OneNoteの活用方法の事例紹介
10月末以降	○校内研究授業および研修会についての打合せ ・日程調整および内容検討
12/17	○校内研究授業および研修会 ・BYOD端末を活用した授業とOneNoteを利用した振り返りの実践事例 ・先生方でのグループ討議
1月中	■教員のICT活用指導力等のアンケート ・研究主任へ各項目について概要説明 ・Microsoft Formsにより回答（2回目）

2 研究の経過

研究授業（12月17日）1年生・数学Ⅰ「データの分析」

事前にFormsを利用して作成・収集したアンケートをもとに
データを分析し、仮説を検証して発表



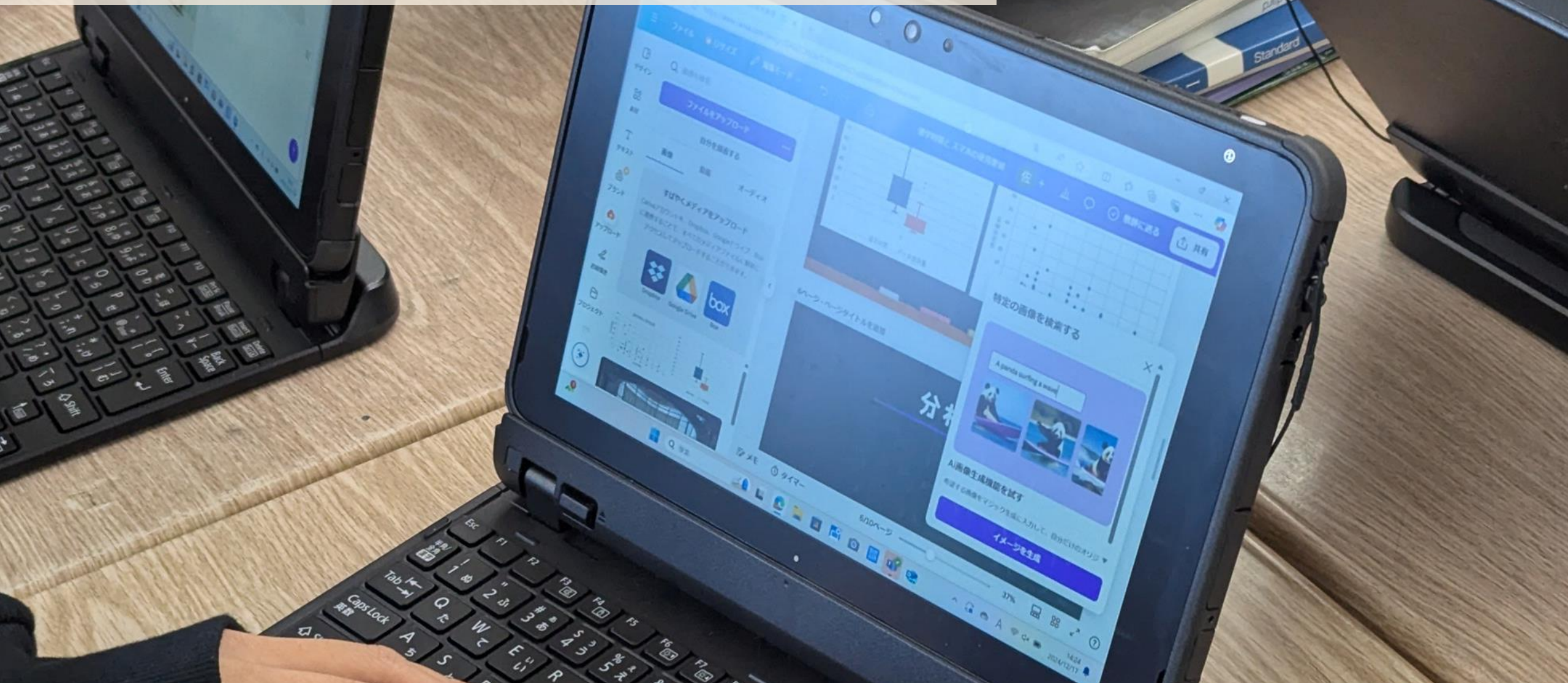
2 研究の経過（研究授業の様子）

Excelを利用してデータを分析



2 研究の経過（研究授業の様子）

CanvaやPowerPointを利用して資料作成



2 研究の経過（研究授業の様子）

グループ代表による発表



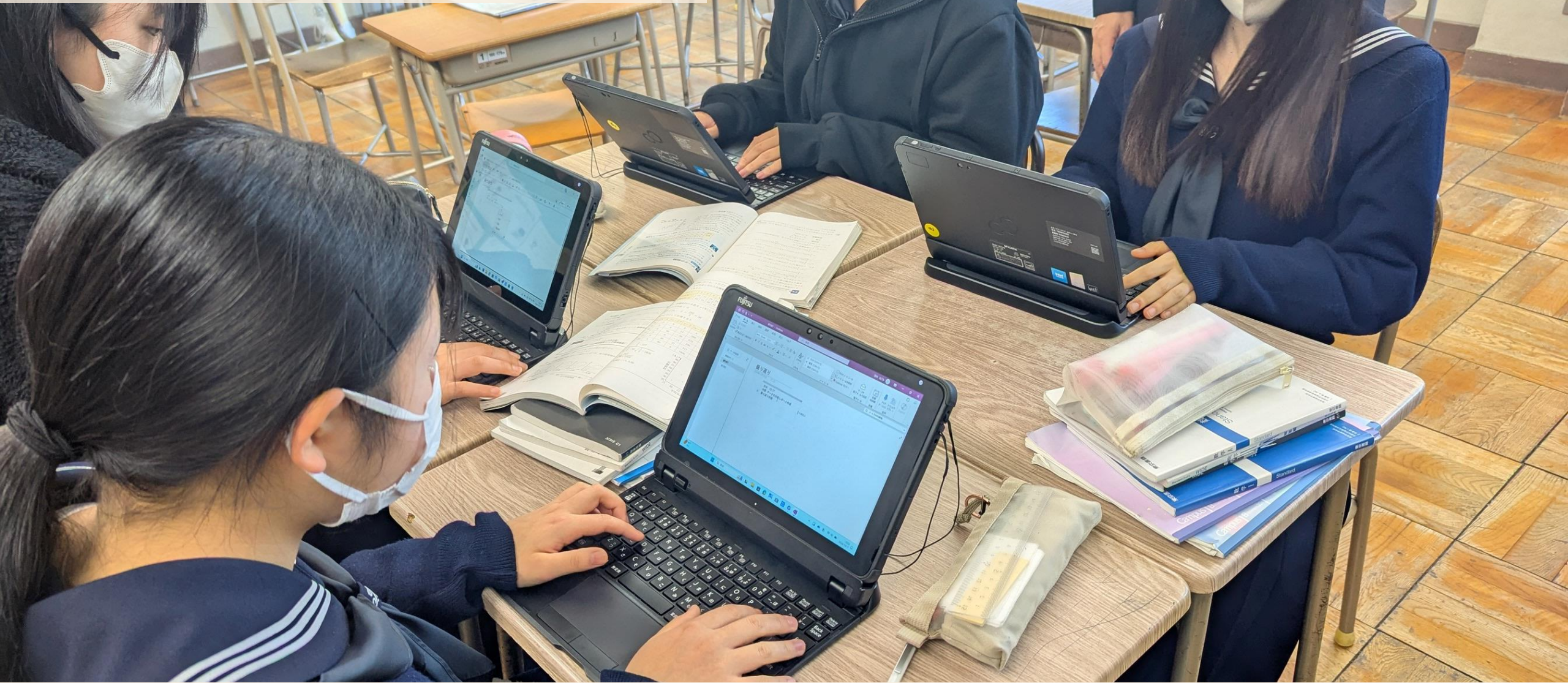
2 研究の経過（研究授業の様子）

グループ代表による発表



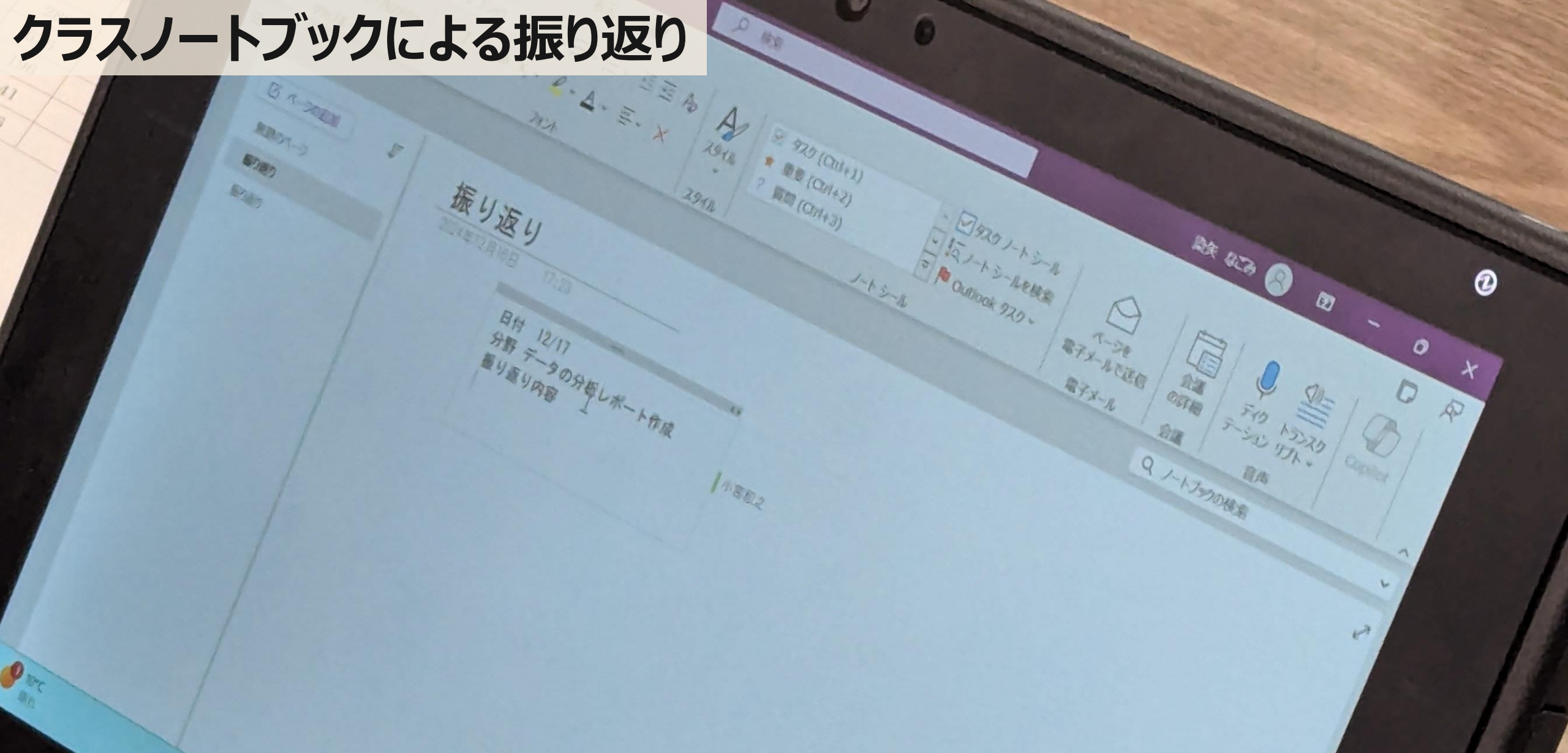
2 研究の経過（研究授業の様子）

クラスノートブックによる振り返り



2 研究の経過（研究授業の様子）

クラスノートブックによる振り返り



2 研究の経過（研究授業の様子）

■ 研究授業後の研究協議を終えて

- BYOD端末の授業における活用方法について、各教科において活用方法を模索しており、今回の研究授業は「都留高校の生徒は、ここまでできる」ということを互いに知るきっかけになった。
- 振り返りにICTを活用するためには、各教科での一層の工夫や試行錯誤が必要になると考える。教科の特性や、振り返りの方法をどこまで共通化するかといった議論は今後も必要と考える。

■ 情報教育チームとして

- **ICT活用を進めていくための前提となる、対象者についてのアンケート分析**
 - アンケートを項目ごとの結果だけで判断せず、他組織との比較や、項目間での関連性などを見ること
 - アンケートをもとにした今後の方向性の確認
- **研究授業において、学校でのBYOD活用についてのモデル提示**
- **振り返りをどのようなICTツールを利用するかを選定**
 - FormsとOneNoteの違い